



### バーサーロペット参加と旭川弾丸ツアー

ツジが効きにくいスキー板になって股関節が痛み出したので、10ヶ月前で大事をとって完走をあきらめコースアウトしました。来年こそは11の動きを習得するのは、思いのほか容易ではありませんでした。少し油断をするとリズムが乱れて力の伝わり方が非効率になったり、バランスを崩して倒れかけたり、と当初は難儀しましたが、何とか練習するうちにスキー板を平行に動かす歩行はだいぶ思い通りにできるようになりました。

3月8日にバーサーロペット・ジャンプの歩くスキー11に参加しました。

1月に北彩都のコースで行われた無料講習会で歩くスキーを初体験して以来、週末に都合がつけば、大会参加に向けて北彩都の1週4・5日のコースを2〜3周する自主練習を積み重ねました。平地で滑らかに前進するため手足の動かし方、足腰の上下運動とリズムの取り方、エ

いるな関係者に支えられてこの素敵な催しが成り立っていることを認識するとともに、準備に携わっていただいた方々に感謝です。

市の中心部に広々としたコースが開放されていることに加え、スキー用具を気軽に借りられるサーブिसも競技にチャレンジするハードルを下げてくれるとても魅力的な環境だと思えます。未就学児や小学校低学年の大会参加者も多く、上手にスイスイとスケートインクでできる小さな競技者をたくさん目にし、さすが、地の利を活かした英才教育が浸透していると感じました。折しも、ミラノ・コルティナオリピックの熱気が冷めやらぬ時期でしたので、様々なウインタースポーツを行うの

に恵まれた環境が、オリンピックで活躍する、たくさんの方の北海道出身の選手を育てる土壌になっていると得心しました。

歩くスキーは体に大きな負荷が掛からないため長い時間継続できて、大量に汗をかいたので、代謝が進み健康にとても良いものでした。この2カ月ほどの練習で、2ヶほど体重を減らすことができました。来季も歩くスキーを楽しみたいと思えます。

バーサーロペットの1カ月ほど前、東京から、同僚3人が旭川に遊びに来て、旭山動物園とスキー、市内のグルメなどを楽しみました。

同僚は始発の飛行機で旭川入りし、ホテルにチェックインした後、10時過ぎに駅からバスで旭山動物園に向かい、キングペンギンの散歩やゴマフアザラシのもぐもぐ

タイム、ホッキョククマなどを始めとした様々な園内の動物たちを楽しみました。何となく、ペンギン散歩が最高でしたが、多くの動物たちが夏場と比べて生き生きとしていた印象を受けました。夕方には市内に戻り、ぎんねこの新子焼き、天金の海鮮などをほしほして堪能し、旭川1日目を終えました。

翌朝、ホテルウイニングインターナショナルで、イクラかけ放題の海鮮バイキングの朝食を頂いて、7時台のバスでカムイスキーリンクスに向かい、雪質がよくコースが豊富なグレレンデをお昼過ぎまで満喫しました。スキーの

後は再び市内に戻り、ホテルで荷物を発送して身軽になってから、ひつじ屋のジンギスカンを楽しんで、旭川空港からの最終便で東京に戻りました。冬の旭川観光のメインメニューとクルメを網羅した、盛りだくさんの1泊2日の弾丸ツアーを客人たちは大満足して帰っていきました。当初計画したときは、詰め込みすぎかとも思いましたが、何とか回りきれぬ高密度のコースでした。冬の1泊2日の短期間で客人をもてなすコースの参考になれば幸いです。(毎月第四週に掲載します)



【佐藤弘康(さとうひろひさ)】1970年、宮城県出身。東北大学法学部卒。システム情報局企画役、決済機構局企画役、業務局企画役、発券局戸田発券課長を経て、2025年、旭川事務所長に就任。